

2023年1月特別例会報告  
みんなで歩こう水戸街道2 (荒川沖～石岡)

開催日	2023年2月23日(木) 祝日
集合場所	常磐線 荒川沖駅西口
集合時間	9時00分
スタート時間	9時15分
コース	荒川沖駅→旧水戸街道へ→荒川沖宿→中村宿→土浦宿 →真鍋宿→中貫宿→中貫公園(昼食)→稲吉宿 →府中宿→石岡駅
距離	25km
参加者	26名
天候	曇りのち晴れ

#### ウォーキング状況

水戸街道の第二段、荒川沖宿から府中宿(石岡)です。  
朝の冷え込みの厳しい中、26名の参加をいただき有難うございました。

水戸街道について少し説明させていただきます。  
水戸街道は東北方面の二十二藩が参勤交代に利用したという大きな街道です。  
ちなみに、徳川御三家のひとつの水戸藩は藩主が常に江戸にいたため、  
参勤交代を行わなかった藩でした。  
参勤交代は多額の費用が掛かり藩の財政を圧迫していたことが知られています、  
水戸藩はこれが無かったので財政は健全だったかというところ。  
三代藩主綱條の時、もともとの石高が28万石であったのに、格式を重んじて、  
新田開発分として表高を28万石から35万石に変更を申し出た。  
この表高を基に軍役が課せられたので、藩の財政を大きく圧迫した経緯があります。

荒川沖駅を出発し直ぐに旧水戸街道に入る、荒川宿には本陣はなく、宿が軒を連ねていた様です。旧旅籠「佐野」周辺ではないかと思われます。  
水戸街道は6号線と旧道を交互に行き来します。更に昭和58年に6号土浦バイパスが開通したので、土浦市内の6号は国道354号、国道125号、県道64号に格下げになっています。  
荒川宿から、6号、古道、6号を横切、古道と進むと、中村宿に着く。  
中村宿には今の小学校の近くに本陣があったと伝えられていますが確認出来ませんでした。坂を下り、花室川を超えて、再び坂を登り、高台を削って作った6号バイパスを跨ぎ、国道354号に出てる。途中でトイレ休憩後、土浦市街の手前迄歩くと、下り坂となり、ここに水戸街道と坂東街道の追分の碑がある。

桜川を渡り、土浦城の南門跡を通り中城通に入る。城跡の近くに土浦宿本陣跡の碑がありますが、当時の面影は残っていませんでした。ここから少し寄り道をしてガマの油発祥の地を見学し、北門跡に



りんりんロードを過ぎると、再び登り坂となり、ここが真鍋宿跡である。土浦宿と1 kmの所に宿場町が有った事になる。これは、真鍋宿の前後で水戸街道から鹿島街道（鹿嶋神宮）、筑波街道（筑波山信仰・神社）の分岐があり、ここを往来する人が利用したと思われる。坂を登ると、国道125号に出る。ここでまた少し寄り道をして、真鍋小学校の校庭にある真鍋の桜の木を見学。隣には土浦一高の古い校舎も見ることができました。この真鍋小学校は明治10年（1877年）に開校した由緒ある学校です。土浦一高を過ぎ、少し歩き、右手の古道に入ると、両側が松並木となり、昔の水戸街道の雰囲気が一番感じる場所となり、途中に板谷の一里塚もあります。



再び県道64号に出て、6号土浦バイパスを跨ぐと古道に入る。まもなく、中貫宿跡に入り、立派な家並みが続き、その真ん中に本陣があり、本橋家が代々歴任してきました。再び6号に合流し、中貫公園で昼食をとりました。



中貫本陣



稲吉本陣

昼食後、6号を2km程歩き、右の古道に入ると稲吉宿です。ここにも本陣があり、坂本家住宅です。

水戸街道で本陣が残っているのは、上記2カ所と取手本陣だけです。稲吉宿を過ぎ、古道を進むと千代田ICにでます、このICの真ん中に千代田の一里塚があり、良く残したものと関心しました。

塚の上に碑があり記念撮影です。



(頂上が狭く、写っていない人がいましたらすみません)

恋瀬川の手前のオートパークで小休憩後、坂を登り石岡市街に入り恒例の丁子屋さんで記帳、マンホールカードゲットです。



石岡駅手前の筑波銀行の付近が本陣跡と言われていますが、確認することは出来ませんでした。

16時前に全員無事に石岡駅ゴールしました。



予定時間を一時間オーバーしましたが、皆様のご協力に感謝します。

記 松崎 寛